

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	35	事業名	清掃センター運営事業	担当部課	くらし文化部環境課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 一般廃棄物処理基本計画、清掃センターリユース揭示板運営要領、清掃センター子ども服・図書リユース事業実施要領			4-2-1 清掃費	
	事業開始の背景、経緯等	平成11年6月策定の第4次長久手町総合計画において、清掃センターの建設を掲げる。平成19年清掃センター(ながくてエコハウス)開館、平成29年11月出張ながくてエコハウス開設				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民が清掃センター(エコハウス)を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター(エコハウス)の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品(制服、子ども服、図書等)の回収配布				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) エコハウス利用者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。				

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
		事業費(A)	千円	予算	8,617	7,840	9,413	9,722
			決算	7,813	10,462	9,347	9,704	
	人件費(B)	千円	決算	7,121	6,749	5,654	7,070	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	14,934	17,211	15,001	16,774	
	事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		181,429	184,429	198,359	186,514	190,000
	対象あたりコスト(C/D)	千円		0	0	0	0	0

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
		資源化率	%	目標	29.60	30.50	25.2	25.5
			実績	25.78	25.22	24.75	30.35	
	(指標の設定根拠)	(数値目標の根拠)						
	資源を回収することで、ごみの減量につながる。	資源回収量÷ごみ排出量						
	(前年までと変更した場合はその理由)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 今年度は、古紙・アルミ・ペットボトル等を自主回収している市内店舗に資源回収量を照会し、実績に加えたため、目標値を達成できた。一方、学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われる。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) H29に羽毛ふとん、H30に水銀体温計・水銀血圧計、R1に小型充電式電池の受け入れを開始し、受入品目を増加した。また、H30にリユース倉庫で制服のリユースを開始した。H29には、卯塚緑地公園内で出張ながくてエコハウスを開始した。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) エコハウスのリユース倉庫の充実や、地域における地域管理の資源回収拠点を増やしていくことが必要。リユース倉庫の取扱品目の検討、地域共生ステーション等への働きかけをしていきたい。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	清掃センター運営事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	190,000	190,000	195,000	200,000	205,000
			実績	186,514				
	(2) 地域による資源回収拠点設置数【累計】	箇所	見込	0	1	2	2	3
			実績	0				
	(3)		見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	改善・見直し
・エコハウス、出張エコハウスにて小型充電式電池の受け入れ開始								

事業を構成する事務事業②	事務事業②							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者が増加していることから出張エコハウスを開設したが、今後は地域による資源回収の仕組みを増やしていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 10年程度先には、まちづくり協議会や連合会・区会とも連携し、地域による資源回収の仕組みを作り、地域主体のごみの減量化・資源化を推進していきたい。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・地域による資源回収拠点の設置にあたっては、市の財政負担が増えない方法を検討してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、ごみの減量化に寄与できるよう取り組んでください。
内部意見への回答		